

「802.11ax」 Wi-Fiの未来がここに

高密度ネットワークの接続性の問題に対処できるように作られた新しい802.11ax(Wi-Fi 6)規格により、ネットワーク全体のパフォーマンスが改善されています。

新しい機能では、802.11acの4倍以上までネットワーク・キャパシティを高めて、複数のクライアントが同時に送信できるようになります。

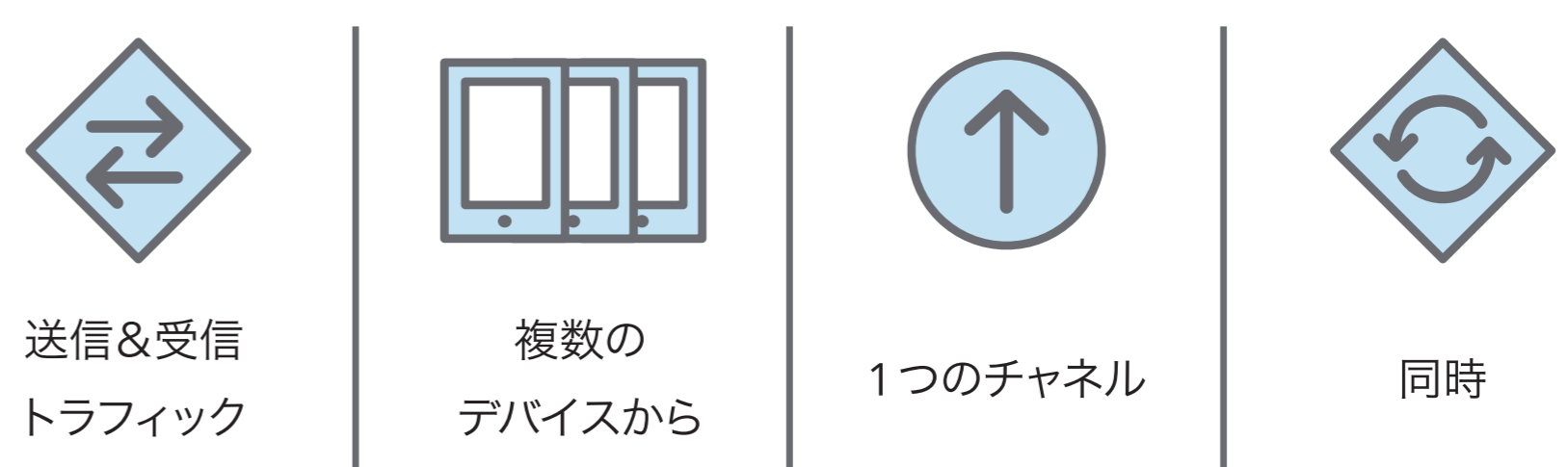
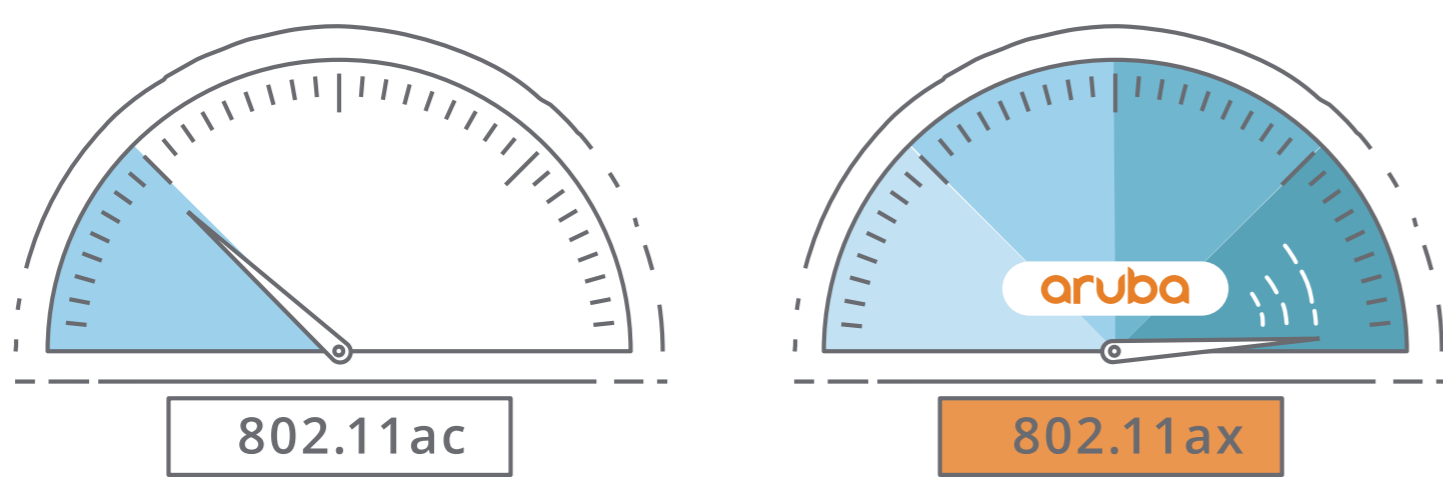
Arubaで最初に802.11axをサポートするユニバーサルIoT対応アクセスポイント



Aruba AP-514 (JP) Unified AP :
型番Q9H56A

Aruba AP-515 (JP) Unified AP :
型番Q9H61A

- 次世代Wi-Fi規格「Wi-Fi 6」こと「IEEE 802.11ax」に対応
- ユニファイドAP (UAP) モードに対応 - コントローラ型、IAP型何れにも展開可能。
デュアルラジオ、外付けアンテナモデルと内蔵アンテナモデル
- 5GHz帯で最大4.8Gbps、2.4GHz帯域で最大575Mbpsをサポート
- E0ポート: HPE SmartRate (100/1G/2.5G BASE-T) 対応ポート
2.5Gbpsの速度はNBase-Tおよび802.3bzの仕様に準拠
- E1ポート: 10/100/1,000BASE-Tイーサネットネットワークインターフェイス
- Bluetooth 5およびZigbee (802.15.4) 無線
- 外形寸法(mm) W x H x D: 200 x 46 x 200
- 重量: 810g、動作保証温度: 0°C ~ + 50°C
- Deep-sleep mode support for Green AP system feature (NetInsight - not yet available)



混雑した環境での体感スピードの向上

IEEE802.11ax規格では周波数領域を拡張することで、高密度のネットワーク環境においては、最大4倍のトラフィックの効率化をえられます。

マルチユーザーのパフォーマンス

802.11ax規格の最も重要な新機能は、OFDMA(直交周波数分割多元接続)と呼ばれる、強化されたマルチユーザー機能です。複数デバイスがデータを送信しようと互いに競い合う既存のモデルとは異なり、帯域幅のニーズが異なる複数のデバイスに同時にサービスが提供されます。802.11axでは、各デバイスのデータ送信が同時に平行してスケジュールされるため、競争がありません。